

市議会だより

第155号



馬原三洲クラブの皆さん

もくじ

- 第2回定例会で審議した議案とその結果など … P 2
- 市政に反映、皆さんの声(一般質問)、議会報告会日程 … P 3～P 10
- 各委員会の議案等の審査結果、市民懇談会の案内など … P 11～P 13
- インタビュー、編集後記 … P 14

令和7年 第2回(6月)定例会

6/10～6/30 21日間

本定例会では、条例の制定、条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算など、17件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。

本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第48号	日田市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第49号	日田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	//
議案第50号	日田市税条例の一部改正について	//
議案第51号	日田市都市計画税条例の一部改正について	//
議案第52号	日田市税特別措置条例の一部改正について	//
議案第53号	日田市国民健康保険税条例の一部改正について	//
議案第54号	日田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議案第55号	財産の取得について	//
議案第56号	工事委託契約の変更契約の締結について	//
議案第57号	専決処分(日田市税条例の一部を改正する条例)の承認について	原案承認(全会一致)
議案第58号	令和7年度日田市一般会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
請願第2号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出の請願	採択(全会一致)
請願第3号	2025年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書提出に関する請願	//
意見書案第1号	ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決(全会一致)
意見書案第2号	2025年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	//
議員提出議案第4号	議員派遣の件について	//
議員提出議案第5号	議会閉会中の各委員会における所管事務調査に関する件について	//

意見書

次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

● ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、以下の項目について取り組むことを強く要望するもの。

1. 教育環境改善のために、すべての職種において計画的な教職員定数改善を推進すること。とりわけ、高等学校での35人学級を早急に実施すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。
3. さらなる少人数学級を推進するとともに、複式学級を解消する。

● 2025年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書

大分県最低賃金のあるべき姿への引き上げと中小企業・小規模事業者支援の更なる拡充のため、以下の施策を講じるよう強く求めるもの。

1. 経済の好循環に向けては「人への投資」が不可欠であることから、継続的な最低賃金の引上げにより経済の自律的成長を実現すること。
2. 設定する最低賃金は、総合指数に見合った水準とすることはもちろん、県内での労働力確保につながる地域間格差の是正を図ること。
3. 最低賃金を上げる環境を整備するため、中小企業・小規模事業者への影響の検証、各種支援制度の継続と実効ある対策の拡充を図ること。



令和7年第2回定例会では、6月17、18、19日の3日間にわたり、一般質問が行われ、15人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

質問 市道田ノ口線の早期開通について市長の考えを伺う。
市長 地域の方に不便をかけていることを認識し、いつ通れるようになるのか不安があることを理解している。工事については不安を与えないよう十分な説明を行うよう留意する。

質問 学校安全の取組が課題であり、危機管理マニュアルの改善充実に取り組む。
質問 本市独自の有害鳥獣対策事業に取り組む考えがあるのか伺う。
部長 これまで市独自の取組はなかったが、市民からの申し込みがあった際に意見を聞くとともに他市の事例も調査研究していく。



一般質問

質問 市道田ノ口線の早期開通について伺う

回答 令和8年3月末の完成を目標に協議を進め、早期通行のための仮設道路の可能性も検討している




市民クラブ **中島 章二 議員**

議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす(3台分)での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。





一般質問

質問

大分市の官製談合事件について市長の認識は？

回答

適切に対処できる体制の構築が必要と受け止めている



日本共産党

日隈

知重 議員

質問 大分市発注のごみ収集運搬業務委託の入札をめぐる官製談合事件で、部落解放同盟の大分支部長だった業者の男が逮捕され、裁判が行われている。この事件に対する市長の認識を伺う。
市長 いかなる人物からの要求であっても、それが不当とみなされる場合には、職員がそれに屈することなく組織的に対処することが基本。適切に対処できる体制の構築が必要と受け止めている。
質問 日田市は昨年、部落解放同盟の要求を受け、市と委託契



大分市の官製談合事件

ごみ収集運搬業務の入札で談合事件。業者の男と市職員を逮捕。

約を結び企業との契約書に、人権研修の積極的な実施を明記した。この人権研修は、とりわけ部落差別をなくすための研修を実施するよう求めているのか。
部長 企業側における人権研修のやり方はそれぞれ。その内容は企業独自の考えとなる。

一般質問

質問

自治会の組織強化を行うべきと考えるが、市の考えを伺う

回答

自治会と協議しながら、持続可能な向上に取り組む



市政クラブ

中原

晴剛 議員

質問 自治会の運営について、市が把握している課題や問題点を伺う。
部長 加入率の低下、役員の高齢化、地域のつながりの希薄化などを把握している。
質問 運営が人口的に難しくなっている自治会はないか伺う。
部長 将来的には運営が厳しくなる可能性がある旨の相談が寄せられている。
質問 今後、増加が見込まれる外国人移住者への対策を伺う。
部長 特定技能外国人と雇用契約を締結した事業者については、



協力確認書を提出していただき、生活する上で一般的なルールを周知することを要請していく。
質問 現状にあったアプリを導入した上で、タブレットの配布などの自治会DXを行えないのか伺う。
部長 地域ごとの課題、実情、活動内容等に合わせて、自治会内での検討は尊重したい。

一般質問

質問

多様な市民の芸術活動支援と
機会の創出は

回答

活動機会の拡充と連携で支援



無所属

高倉 貴子 議員



質問 近年注目される二地域居住について、現状と課題、今後の方向性を問う。

部長 二地域居住は地方活性化につながるかと期待。国の動向を注視し施策を検討していく。

質問 合併処理浄化槽補助制度の補助対象にできないか。

部長 関係部署と連携し、二地域居住者への補助も検討する。

質問 パトリア日田の今後の取組、市民の芸術活動支援、文化芸術を通じた観光振興・地域ブランド化戦略について問う。

市長 市民の声と県との連携を

軸に、日田の芸術文化を国内外へ発信し、人材育成も進める。

質問 日田青年会議所が検討する若者世代の地域芸術祭について、市の支援連携について問う。

市長 JCブループリント会議は郷土愛と文化振興の議論。市民主体が望ましいが、具体化するれば市も連携を考えていきたい。

民主体が望ましいが、具体化するれば市も連携を考えていきたい。



パトリア日田
ギャラリートークの様子

一般質問

質問

日田市消防団の今後の団員確保への取組と処遇改善について伺う

回答

国の基準に準じた増額改定を実施したほか、装備の充実や、退職金の受給基準の見直しを行った



新世ひた

佐藤 孝彰 議員



質問 処遇改善について、装備品の充実とすることもあるが、準中型運転免許証の取得に対する補助等は検討できないか。

部長 現時点で、準中型免許が必要な車両は全70台中、25台で、運転免許の制限がある対象団員数は14名である。今後は、他市の状況なども参考に調査、研究を進めていこうと考えている。

質問 消防団の活動の広報については、市報に掲載を出しているが、もう少し詳しい内容にできないか。例えば、大会で入賞した団員のプロフィールや、何世

代も消防活動に協力している消防一家の紹介など、詳しく細やかな広報を希望する。

市長 消防団の方々の協力は、とても実感しているところである。いろんなメディアを通じ発信を行い、子どもたちにも活躍が分かる様な紹介の仕方等、工夫をしていきたいと思っている。

代も消防活動に協力している消防一家の紹介など、詳しく細やかな広報を希望する。





一般質問

質問

咸宜園・豆田町の世界遺産登録に向けた取組について、現状はどうなっているのか？

回答

世界遺産登録の取組で咸宜園・豆田町の存在は欠かせない



市政クラブ

原田



裕文 議員

質問 日田市が、世界遺産登録

への取組を始めて16年が経過しており、8300万円を費やしている。市民の皆さんの意識は、世界遺産に対して我が事のように考えているのか、それとも行政や専門家が勝手にやっていると考えているのかを問うべきであり、行政として原点に戻り、新たなステップに進むことは大事であるが、どう考えているのか伺う。

市長 世界遺産への取組が市民全

体にまでは広がっていなかったことは、否定できない。しかし

4月の組織変更で、世界遺産推進室を市長部局に移しており、今後、世界遺産登録の意義をより分かりやすく市民に発信するよう考えている。

質問 今後の取組に何年かかるか、幾らかかるのか分からない状況で進めることは、行政として無責任であると考えている。どの時点かで市民に世界遺産登録の是非を問う必要がある。

ある。



咸宜園跡

一般質問

質問

音楽大パレードの予備日や代替の場の考えは？

回答

代替開催や予備日の可能性について調整を進めていく



新世ひた

居川



太城 議員

質問 日田川開き観光祭は2日間開催のため各種調整が必要なのは重々承知した中で、予備日の設定や地域イベントと連携し鼓笛演奏の発表の場を設ける余地はないのか、見解を伺う。

部長 事前に天候不順時の代替開催や予備日の設定などは行っていない。今後は、同様の事態に備え、代替開催や予備日の可能性について、教育委員会と連携しながら調整を進めていく。

質問 中止にする際の対応や判断基準について、本件を活かす

ためにも明文化、保護者や関係

者への周知体制づくり等を今後、各校や教育委員会で検討できないか伺う。

教育長 今回中止とした事で見直しや、検討すべき点も見えてきた。細やかな判断基準を設けることが可能か、中止とした際の周知手続や段取りについて、改める必要があるか、今後、関係各所との協議を進めた



昨年の鼓笛パレードの様子

一般質問

質問

周辺部への訪問介護サービスについて、独自の助成はできないか？

回答

まずは調査を実施し、早急に周辺部の現状把握に努める



市政クラブ 岩見 泉哉 議員

質問 訪問介護事業は国において報酬単価が下げられたが、これにより周辺地域を巡回する施設に廃業やサービスの空白地が生まれるのではないかと懸念の声が上がっている。サービスを受けている高齢者を見捨てる事にならないのか。

部長 全国市長会を通じ国に対し要望をしているところである。

質問 見直しができる間だけでも市が訪問距離などを考慮した独自の助成をすることが出来ないか。

部長 別途調査を実施し、早急



に周辺部の現状把握に努める。

市長 周辺地域の事業者が厳しいことは理解している。訪問介護サービスの現状を把握して工夫が出来るのか考えたい。

質問 今回の訪問介護を含めて周辺地域のことを考えてもらい不安解消をお願いしたい。

一般質問

質問

働きたい障害者の声を聞き、支援の充実・強化を！

回答

利用者の特性に応じた作業メニューの提供や施設職員の支援スキルの向上に努める



市民クラブ 梶原 信幸 議員

質問 多様な就労支援の場を確保して欲しい。

部長 事業所の新規開設は事業者自身の経営判断に基づくものである。事業所開設の際には、助言や情報提供を行う。

質問 在宅就労に関して、市内サービス事業所の掘り起こしはできないか。

部長 在宅就労サービスの利用ニーズの実態把握を行い、市内にある既存の就労継続支援事業所に、作業内容の一つとして在宅就労を取り入れられないか働きかけを行う。



廃電線リサイクル事業

質問 相談支援体制の充実強化についての考え方を伺う。

部長 体制強化のための人員確保に加え研修会や事例検討会などを通じて相談支援の質の向上に努める。



一般質問

質問

市の森林Jークレジット制度の
認証予定を問う

回答

令和7年度中に登録申請、令和
8年度中に認証、発行を予定し
ている



新世ひた
石橋 邦彦 議員

質問 森林Jークレジットの認

証販売の取り組みの影響を問う。

副市長 森林投資・林業経営意

欲の喚起。日田林業を応援いた
だく企業との関係強化が考えら
れる。

質問 大山ダム湖に発生してい
る赤潮の発生状況を問う。

部長 令和4年以降春先から夏
場にかけて毎年発生がある。毒性
は無く健康被害が生じる事は無
いがダム湖が赤褐色になるため
景観上の問題がある。

質問 ダム湖及び周辺景観は、

進撃の巨人関連施設等で大きな



大山ダム湖の風景

観光資源と考えられる。赤潮の

早期解決に向けた動きを問う。

部長 市としても情報収集を行

いダム管理所に対し具体的解決
策を提案し早期解決を目指す。

質問 この他、食料・農業・農村
基本法及び種苗法改正について
質問した。

一般質問

質問

日田の観光の目玉は何なのか？

回答

水郷日田を象徴する鵜飼と遊船、
天ヶ瀬温泉や奥日田エリアの自
然観光である



公明党
坂本 茂 議員

質問 日田市には多くの観光資

源があるが、目玉は何なのか。

部長 水郷日田を象徴する鵜飼

と遊船、天ヶ瀬温泉や奥日田工
リアの自然観光である。遊船の
新たな活用方法の模索や、鵜飼
の魅力を体験できる企画の実施、
奥日田エリアについては、地域
の観光施設と連携したイベント
を通して、魅力の発信、周遊企画
等を展開していきたい。

質問 国内からの観光客の増加

を図る取組が重要であると思っ
がどのように考えているか。

部長 国内のお客様にも行きた

いと感じてもらえるような、日

田ならではの魅力発信に力を入
れていきたい。そして、夜間でも
楽しめるコンテンツを増やすこ
とで、日田での滞在時間を延ば
し、宿泊へとつなげていきたい。

また、福岡都市圏や大分県内、熊
本県内からの誘客促進に取り組
んでいきたい。





一般質問

質問

学校施設改修においてトイレの洋式化を優先できないか？

回答

管理運営費や施設営繕工事費で柔軟に対応する



市政クラブ 崎尾 亮介 議員



質問 全国的に公立学校の改修に充てる交付金が不採択になっているが、日田市においてはどうか？

教育次長 4月6月申請分については不採択となり、追加申請している。

質問 今年度の予算の一部を用いてトイレの洋式化を優先してできないか？

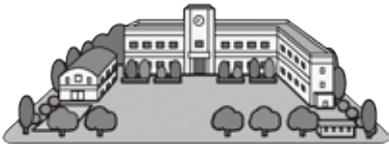
教育次長 和式トイレの一部を洋式化するなどは、予算で議決してある管理運営費や施設営繕工事費で柔軟に対応する。

質問 今年度は学校施設長寿命化

計画の見直しの年だが、学校規模の適正化について検討されているのか。

教育次長 教育環境整備の検討の時期と認識している。

質問 統廃合や再編の視点ではなく、地域共生や防災拠点有する多機能化を含んだ施設の適正化を期待する。



一般質問

質問

災害時での食事の提供などを図るため、キッチンカーを避難所に配備できないか？

回答

災害時における支援協定の締結に向けた取組を進めたい



公明党 松野 勝美 議員



質問 災害時での避難生活を支える必要な備蓄は重要で、心身の健康を守る食料など十分に確保されているのか伺う。

部長 一定の避難期間に対応できる量は備蓄できていると考えている。一定量の備蓄を確保しておくため、逐次、物資の調達を進めることとしている。

質問 キッチンカーでは、温かい御飯や味噌汁、おかずの提供もできる。例えば、内臓疾患等をお持ちの方であれば、食事の内容に偏りがある場合は、様々な影響が考えられる。そういった

方々のニーズにも応えられるのではないか。

部長 被災者に温かい食事を提供できるなど、従来に比べて利点が多いものと考えられる。災害時における支援協定の締結に向けた取組を進めたいと考えている。

質問 この他、中学校の共通制服について、带状疱疹ワクチン接種についてなど質問した。





一般質問

質問

新清掃センターの地元連絡協議会の設立はいつ頃か？

回答

8月以降の設立に向けて調整していきます



市政クラブ

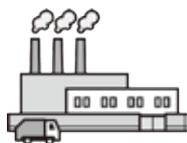
梅原

竜也 議員



質問 令和5年9月議会で新清掃センターの造成工事費14億5356万2000円が承認され、現在、造成工事が行われているが進捗状況を伺う。
部長 令和5年11月から侵入道路の工事に着手しており、現時点では侵入道路は完成し、残る用地造成工事と調整池工事を進めており、工事全体の進捗状況は、65%である。
質問 当初の造成工事の完成は、令和7年9月末だったが、5か月間延期し、令和8年2月末になった理由を伺う。

部長 造成工事に必要な盛土材を国道210号の川下トンネル工事が出た盛土を搬入しているが、工事の前半部分では、予定していた量よりも少なく、仮設工事の整備が遅れたためである。
質問 今後の新清掃センター工事の入札等に影響はないか伺う。
部長 影響はないと思われる。
質問 この他、公用車及び携帯端末におけるNHK受信料の未契約について質問した。



一般質問

質問

生活困窮者への一時金支援や市の水道料の基本料金を4カ月免除してはどうか？

回答

財政的に余裕がない



日本共産党

大谷

敏彰 議員



質問 財政調整基金60億円の一部を活用し、物価高騰に苦しむ生活困窮の約1万世帯に2万円を支援してはどうか。
部長 国が対応すべきと考える。
市長 焼却場の建設もあり、将来推計から財政は厳しい。
質問 内部留保資金19億円の一部を、水道の基本料金4か月分の免除に充てられないか。
局長 4か月で1億2千万円の費用になる。今後の施設更新もあるので減免できない。
質問 高齢者の認知症予防対策として、全国の自治体では補聴

器購入助成制度が43都道府県453自治体で実施されている。日田市も実施してはどうか。
部長 他市の事例を情報収集して、難聴と認知機能低下との研究成果を待ちたい。
質問 有機フッ素化合物PFASの水道や河川の調査の考えは。
部長 専用水道設置者に検査を依頼した。必要があれば県と連携し河川の水質検査をする。
難聴対策に補聴器が必要





報告

各委員会の
議案等の審査結果

総務環境委員会

令和7年度日田市一般会計
補正予算5億7196万2千
円を全額可決

今回の主な歳入の補正は、定額減税補正給付金給付事業(不足額給付)に伴う物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3億8150万9千円の国庫支出金や、林業・木材産業構造改革事業に対する県支出金の増額などです。

●日田市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について

本案は、地方公務員法の規定に基づき、職員の自己啓発等休業制度を新たに設けるものです。

審査の中では「職種によっては、公務員の新規採用者の確保が困難となっている中、これまでに以上に人材確保や人材育成に取り組むことが必要ではないか。」との意見がありました。

さらに、条例施行に当たっては、

職員に対して、制度内容の周知を行うとともに、職員からの申請が出された場合は、その意思を十分尊重し、休業期間における適正な職員配置を検討するなど、職場内で制度を利用しやすい環境整備を行うよう要望しました。

●工事委託契約の変更契約の締結について

本案は、日田市新清掃センター造成工事の工事委託契約の変更契約を締結するものです。

変更契約の事業内容については、その必要性を十分に精査し、専門的な技術についての詳細な説明や契約を変更する要因となった制度に関する根拠法令等の説明についても丁寧に行うよう要望しました。



教育福祉委員会

国民健康保険の子ども均等
割額減免拡充の検討を!

●国民健康保険条例の改正

令和7年度の税率は、繰越金を使って据え置きです。例えば42歳の夫と35歳の妻と子ども2人の4人暮らしの場合、夫の営業所得343万円、妻の営業所得103万円で、年間の国保税は64万円です。

地方税法の改正に伴い、課税限度額の引き上げが行われます。これにより、年間の国保税が増える世帯は、国保加入世帯の18%(130世帯)です。

物価高が続いており、子ども均等割額減免の拡充を検討するよう要望しました。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

65歳以上の高齢者などを対象とした新型コロナウイルスワクチン接種に必要となる費用約4千万円の計上です。

市内外の医療機関で今年10月から受けられます。自己負担は助成金がなくなり4500円です。生活保護を受けている人、市民税非課税世帯の人は無料です。

現在、市のホームページの予防接種ページでは、ワクチン接種の副反応や健康被害救済制度についての内容が分かりにくいことから、今後、市のホームページや広報での予防接種の周知について、市民に分かりやすく改善するよう要望しました。





産業建設委員会

未整備森林の解消に向けて 様々な取組を！

● 森林経営推進事業

本事業は、森林環境譲与税を活用し、未整備森林の解消を図るものであり、今回の補正は、令和5年度の現地調査に基づき、

林業専用道の整備を進めるものです。実施に当たっては防災対策の徹底、整備後の適切な管理、そして技術向上に繋がる研修会開催の検討などを要望しました。

● 大径材製品供給安全化対策事業、林業木材産業構造改革事業

これらの事業は、大径材や木材の安定的・効率的な供給体制構築のため、加工流通施設等の整備・改良を支援するもので、今回、国と県の予算が確保されたことから、増額補正を行うものです。国・県に対し、地域の重要な基幹産業である林業へのさらなる継続的支援の働きかけを行うよう要望しました。

● 地域の文化・芸術活動助成事業

本事業は、地域創造の助成金を活用し、パトリア日田の公演を支援するものです。今後も指定管理者が市民のニーズに応じた柔軟な企画運営ができるよう、積極的な支援を行うよう要望しました。

● 石井工業団地排水ポンプ整備事業

本事業は、大雨時の内水被害防止のため、排水ポンプ施設を整備するものですが、年度内の完了が見込めないことから、繰越明許費を設定するものです。本事業に限らず、近年、繰越明許費の設定が増えていることを踏まえ、会計年度独立の原則から、事業期間や予算執行について改めて整理するよう要望しました。



公職選挙法(寄附行為)に関するQ & A

虚礼廃止にご理解とご協力を！

Q 議員が、選挙区内の初盆参りにおいて、ご仏前や線香をお供えすることはできますか。

A 親族(6親等内(またいとこ・はとこ)の血族、配偶者及び3親等内(おじ・おば・おい・めい)の姻族)に対して行う場合を除いて、寄附に当たりますので禁止されています。

Q 議員が、暑中見舞いや残暑見舞いを選挙区内の市民に対して出すことは許されますか。

A 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆によるものを除いて、禁止されています。例えば、パソコン等による裏面印刷は、自筆によるものと認められませんので禁止されています。さらに、署名のみ自筆したもの、または、口述して他人に代筆させたものも自筆とは認められません。

この他、議員が、地区運動会などで寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・お歳暮・病見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。

第3回(9月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

9月 4日(木)	本会議(議案説明)
10日(水)	本会議(一般質問)
~	
12日(金)	本会議(議案質疑)
17日(水)	
18日(木)	委員会(議案審査)
~	
22日(月)	本会議(討論・採決)
25日(木)	

意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。



FAX 22-8249

メール gikai@city.hita.lg.jp



「住みよい日田市」 と「議会のいま」 を考える市民懇談会

日 時

令和7年 **8月23日** (土)

13:00～16:30

- 13:00～ 講演会「多様性のある議会と議員の役割」
講 師：(株)廣瀬行政研究所
代表取締役 廣瀬 和彦 氏
- 14:30～ 意見交換会「議員定数・議員報酬を考える」
議員を交えた意見交換会（グループワーク）
で皆様のご意見をお聞かせください。

参加者
募集



【申込フォームへ】

場 所

日田市複合文化施設A O S E（アオーゼ）

- 講 演 会 多目的ホール（1階）
- 意見交換会 会議室1・2・3（2階）

募集人数

- 講演会のみ 50人
 - 講演会・意見交換会 50人
- ※受付は、先着順とします。

申込方法

メール gikai@city.hita.lg.jp
電 話 0973-22-8214

電子申請（上記二次元コード）又はメール、電話の
いずれかでお申し込みください。

【記載事項】 ①氏名 ②住所 ③連絡先 ④メールアドレス
⑤年齢 ⑥学校名 ⑦学年

※⑥・⑦は、学生の方のみご記入ください。

対 象 者

高校生世代以上の市内在住者

参加料
無料

申込受付開始

8月5日(火) *定員になり次第、締め切ります。

日田市議会 議員定数等調査特別委員会

■お問い合わせ先

日田市議会事務局 〒877-8601 大分県日田市田島2丁目6番1号

・電話番号 | 0973-22-8214 ・FAX | 0973-22-8249

・アドレス | gikai@city.hita.lg.jp

※不明な点など、お気軽にお問い合わせください。



表紙の皆さん

今回は天瀬町馬原の老人クラブ「馬原三洲クラブ」の皆さんにお話を伺いました。

馬原地区においては昭和49年に、馬原第一老人クラブと馬原第二老人クラブの2つの老人クラブが結成されました。時を経て平成29年に合併して馬原老人クラブとなり、更に令和2年に現在の馬原三洲クラブと改名しました。

主な活動としては、県道高塚線のごみ拾い、長三洲公園の清掃、毎月開催のふれあいサロン、地域の先生としての小学校派遣などがあります。「地域のため、子ども達のため、そして会員の健康のために、集って笑って楽しんで」をモットーに活動しています。

県道高塚線のごみ拾い

毎年1回、涼しくなった秋ごろに、中川から高塚までの道のりを半分ずつ、毎年交互に行い

ます。皆で路線バスに乗り、スタート地点に向かいます。ゴールまで約2時間の道のりをゆっくりゆっくり無理なく、おしゃべりしながらごみ拾いをします。道中で出会う人と会話をしながら、コミュニケーションをはかっています。



高塚線のごみ拾い

ふれあいサロンの開催

毎月1回、開催している交流の場「ザ・たまり場」。

月に1回は「顔を合わせようや」と、6年前から始まりました。毎月の内容を考えるのは大変な事ですが、そこは会長の飯田哲雄さんがあの手この手といういろいろな催しを提案してくれ

中でも注目なのは、社交ダンスのレッスンです。近所の講師、穴井安夫さんの手ほどきにより、かなりの上達ぶりです。また、社交ダンスは相手との協調が必要になり、意外と体力も必要な競技です。



社交ダンスの様子

長三洲公園の清掃

今年度より草刈りの業務を請負い、クラブで管理をしています。地元出身の先哲、長三洲の在りし日を偲んでいます。



長三洲公園の草刈り

編集後記

馬原三洲クラブは発足から51年になり、益々活発な活動を続けています。クラブ名の由来である馬原出身の長三洲は、幕末にかけて活躍し日本の学校教育制度の土台を作ったとされています。

このクラブでは、長三洲や馬原の歴史について学んだり、音楽公演会や楽器演奏会なども開催しています。会長の飯田哲雄さんは、自ら楽器を演奏し、手作りの紙芝居を使って講演を行ったりしています。

ある企業家の言葉です。「青春とは心の若さである。常に前向きに生きるといふその姿勢こそがまさに青春である。」この言葉どおり、会員の皆さんは、生き生きと活動しています。これからも郷土愛と健康のために、馬原三洲クラブの活躍を期待しています。

(議会報編集委員会委員長

佐藤 孝彰)

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎028214)へ。市議会だよりは環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

